

(第6条関係)

事業概要書

事業名	協働のまちづくり啓発・研修事業
団体名	特定非営利活動法人まつどNPO協議会
事業担当課	市民自治課

取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	<p>【行政指定部門のため、要項より再掲】</p> <p>毎年、協働によるまちづくり推進を目的として、市職員、市民を対象に協働のまちづくり講演会を実施している。しかしながら、年々、市民の参加者が減少しており、また、市民へのアンケート調査結果から、施策の認知度が低く、十分な意識啓発には至っていない。</p> <p>①市民が、地域にある課題やこれを解決するために活動している市民活動の存在を知ること</p> <p>②機会があれば、市民活動をしてみたいと考えるための足がかりになる情報提供</p> <p>平成28年3月付で発行された、平成27年度協働のまちづくり意識調査報告書では、市民1000人弱から得た回答の中で市民活動に参加したことの無い理由として「きっかけや機会がない」「忙しくて時間がない」という選択肢に続いて、「活動に関する情報が得られない」「一緒に活動する仲間がいない」という理由が多く挙がっている。</p> <p>協働のまちづくり講演会は松戸市協働事業として、平成27年度は協働に関する知識・コミュニケーションの重要性を学ぶテーマで開催、平成28年度は2025年の松戸市を考えることをテーマに人口減少時代に行政がどう変わっていくかを協働の視点から考える内容で実施予定である。</p>
事業の目的	<p>協働のまちづくり講演会は、松戸市職員向け（50～100人規模）の研修の枠組みを活かし、市民への啓発や官民協働の推進を図る取り組みである。</p> <p>本事業では、上記アンケートで市民が感じている「活動に関する情報が得られない」「一緒に活動する仲間がいない」という課題に着目し、1年目＝協働におけるコミュニケーション、2年目＝行政のあり方に続き、3年目として先駆的に市民活動に参加している市民をモデルとして取り上げ「これなら私も参加できそう、取り組めそう」と感じてもらう。当日は、まちづくりにおける市民の活躍への期待、情報提供と合わせた活動のきっかけづくり、仲間づくりを組み込んだワークショップを含む、参加行動につながる講演会を実施する。</p>
事業内容	<p>①「協働のまちづくり講演会」の開催</p> <p>テーマ＝「まちづくり、あなたが動けば、仲間が見つかる」（仮）</p> <p>29年度は、自分のペースに合わせて参加できる市民活動があることを知り、体験の窓口を用意した講演会を実施する。対象は市民・市職員双方とし、活動のきっかけを提供すると共に、市職員にとっては、自らの施策分野と隣接する市民活動団体の現場に出て行く研修にもつながる、マッチングの場を用意する。</p> <p>【概要】</p>

	<p>日程＝10月下旬～11月初旬 場所＝松戸駅近辺 定員＝およそ150名（市民・職員含む） 参加費＝無料</p> <p>【プログラム（仮）】※講師・パネリストと調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「参加して理解する、社会の課題・地域の課題（仮）」講演 ■「私の市民活動はじめて体験談」パネルトーク <p>登壇者＝市民活動参加市民、参加行政職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ■市民活動ポスターセッション&プレゼンテーション ■市民活動体験マッチング <p>②「市民活動ポータルサイト」準備</p> <p>29年度も、これまでのインタビュー記事に加え、新規に5件程度増やし、計20件程度をホームページ公開する。</p> <p>合わせて、協働事業終了後も市民活動に関するイベント情報・ボランティア募集情報等を掲載し、市民活動の啓発につながるよう、アクセス数を高めていく。</p>
協働の必要性	<p>本事業は行政指定部門の事業であり、市行政が取り組むことへの妥当性・重要性は提案時点で担当課がニーズを感じており、本提案書の課題の項に記載している。</p> <p>以下、協働で本事業に取り組むメリットを列挙する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市行政として、協働推進に関する職員の研修として講演会を位置づける。市職員が自らの業務的課題と協働を結びつけて考えるきっかけを提供し、行政手法としての協働に目を向け取り組む契機に位置づける。 ● NPOとして、講演会を通じてより多くの市民・市職員に市民活動の多様な姿を伝えることができ、本年度は市民活動体験のマッチングをすることで市民活動の担い手の発掘・発展につなげることができる。 ● 本協議会が中間支援団体として、市民活動に携わる者の視点からのニーズを、共に企画・運営することで反映させる。
事業の目標	<p>①「協働のまちづくり講演会」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 講演会来場者数を120名、市民40名を目指す。 <p>市民活動体験におけるマッチング数を、30件（行政20件、市民10件）を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民活動体験者に後日アンケート（活動報告）を実施し、市民活動現場体験前と後で、予想と違ったことなどを集計・評価する。 <p>②「市民活動ポータルサイト」準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民活動団体の訪問インタビューを5件以上実施し、多様な活動の情報を提供する。 ● FacebookやTwitter、市ホームページを通じて市民活動や協働のストーリーをホームページを経由して広める。 ● Webポータルサイトへのポスター等、紙媒体からの誘導を目指し、年間15,000PVを目指す。

(第6条関係)

事業の予算概要

【労力換算（限度額算入）】

(単位:円)

区分	科目	金額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 185,000	

【収入】

区分	科目	金額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 36,000	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (B)	¥ 36,000	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 221,000	
合計額(D)=(B+C)		¥ 257,000	

【支出】

区分	科目	予算額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 85,000	講演会講師謝礼、パネリスト謝礼
	報償費 (バリアフリー対応)	¥ 32,000	要約筆記 (2万)、手話 (1.2万) ※松戸市基準
	消耗品費	¥ 10,000	模造紙・付箋紙等会場掲示物作成、コピー用紙等
	食糧費	¥ 11,000	登壇者水代、ワークショップ 茶 菓子等
	印刷製本費	¥ 95,000	回覧情報誌 (4C/4C) 20,000枚、ポスター (4C) 500枚
	委託料	¥ 20,000	印刷物デザイン委託
	対象経費の合計(E)	¥ 253,000	
(その他対象外経費)	旅費交通費	¥ 3,000	講師打ち合わせ (先方) への移動
	通信運搬費	¥ 1,000	振込手数料等
	その他経費の合計額(F)	¥ 4,000	
合計額(G)=(E+F)		¥ 257,000	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位:円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×500円
	担当課打ち合わせ (7回)	14,000 円	2 人 × 2 h × 7 回 × 500 円
	企画打ち合わせ (3回)	27,000 円	6 人 × 3 h × 3 回 × 500 円
	講師打ち合わせ	8,000 円	2 人 × 4 h × 2 回 × 500 円
	パネリスト打ち合わせ	6,000 円	2 人 × 3 h × 2 回 × 500 円
	直前打ち合わせ	4,500 円	3 人 × 3 h × 1 回 × 500 円
	講演会当日	30,000 円	10 人 × 6 h × 1 回 × 500 円
	振り返り (担当課) 打ち合わせ	9,000 円	3 人 × 3 h × 2 回 × 500 円
	報告書制作	24,000 円	3 人 × 16 h × 1 回 × 500 円
	団体ヒアリング・原稿起こし	20,000 円	1 人 × 8 h × 5 回 × 500 円
	市民活動団体 インタビュー対応	7,500 円	5 人 × 3 h × 1 回 × 500 円
	拡大企画会議 (1回)	15,000 円	10 人 × 3 h × 1 回 × 500 円
	広報活動	20,000 円	2 人 × 2 h × 10 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
		人 × h × 回 × 500 円	
		人 × h × 回 × 500 円	
		人 × h × 回 × 500 円	
		人 × h × 回 × 500 円	
		人 × h × 回 × 500 円	
合 計 (A)	185,000 円		